



昭和30年〜昭和55年

昭和

30年 3月16日 新町誕生

4月23日 初代町長に若村源左衛門氏当選

4月30日 第1回町議会議員選挙(定数30人)

12月7日 日野町社会福祉協議会設立

31年 7月28日 議会、県下初の猟区設定可決(11月設定)

32年 4月22日 内池、小御門地区簡易水道竣工

33年 3月27日 町民憲章制定決議(3月28日告示)

8月12日 日野町建設計画決議

12月24日 議員定数24人に削減を議会で可決

34年 4月1日 鎌掛簡易水道竣工

8月24日 日野町同和推進協議会発足

9月26日 伊勢湾台風襲来(4戸全壊)

35年 5月9日 別所に塵芥焼却場落成

36年 4月10日 母子健康センター開設

4月26日 上水道工事完成

(日野地区・西大路・仁本木・里口)



旧役場庁舎



歌いながら行進が行われました



昭和30年日野町発足式

48年 1月1日 70歳以上の老人医療の無料化開始

3月4日 第3代町長に森田忠蔵氏初当選

4月1日 町立幼稚園保育料の無料化実施

10月1日 1歳児未満乳児・65歳以上のねたきり老人等の医療費無料化開始

49年 1月20日 町の木「ひのき」

町の花「ほんしやくなげ」制定

50年 4月1日 町独自の福祉制度として母子家庭医療費補助実施



日野住宅工業団地(現在の第1工業団地)が造成されていました。

51年 3月1日 勤労福祉会館竣工

4月14日 蒲生地区広域営農団地農道

(現:町道石原鳥居平線)竣工



北山造成事業が行われていました



昭和50年町議会の様子



昭和46年6月2日統合された中学校

- 37年 3月31日 各地区連絡所を廃止、公民館と改称される
11月1日 日野文化会館（隣保館）開館
- 38年 3月10日 日野公民館竣工
- 39年 12月16日 西部地区（豊田・中山・徳谷）簡易水道竣工
- 40年 2月7日 初代町長 若村源左衛門氏急逝
(2月16日町葬)
3月8日 第2代町長に橋田喜一郎氏初当選
- 41年 3月 日野川ダム竣工
8月1日 県立「しゃくなげ園」開園
- 42年 1月24日 中学校の統合問題で議会解散請求（リコール）が提出される（3月9日議会任期満了で解散、住民投票は行われず）
3月24日 議員定数20人に削減を議会で可決
- 43年 7月22日 綿向山・石楠花溪など鈴鹿国定公園に指定
- 44年 1月21日 中学校統合案が議会で可決
- 45年 4月1日 老人家庭奉仕員制度を開始
彦根と枚方を結ぶ県道が国道307号に昇格
- 46年 6月2日 日野中学校竣工
- 47年 1月14日 日野町総合発展計画基本構想を議会で議決



昭和45年4月1日
県道が国道307号に昇格しました



北中学校



西中学校



東中学校

- 52年 4月20日 必佐小学校竣工
10月1日 福祉バス「わたむき号」運行開始
- 53年 11月3日 三重県松阪市と文化交流都市提携締結
- 54年 3月24日 林業センター・商工会館竣工
5月27日 「歩いて歩いて関東へ」スタート
10月10日 大谷公園野球場竣工
- 55年 4月1日 町立幼稚園 保育料全員有料化開始
10月5日 国道307号日野水口
グリーンバイパス（有料道路）開通
県立養護老人ホーム「さつき荘」竣工
日野町役場新庁舎竣工（12月22日執務開始）
- 昭和54年5月27日にスタートした歩いて歩いて関東へ。綿向神社から12年かけて東京日本橋まで歩きました
- 昭和55年10月5日に開通した日野水口グリーンバイパス
- 大谷公園体育館と野球場
- 昭和51年ごろの日野ギンザ商店街
- 昭和52年ごろの日野駅前商店街



昭和54年5月27日にスタートした歩いて歩いて関東へ。綿向神社から12年かけて東京日本橋まで歩きました



昭和55年10月5日に開通した日野水口グリーンバイパス



大谷公園体育館と野球場



昭和51年ごろの日野ギンザ商店街



昭和52年ごろの日野駅前商店街